

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

富山市長

市町村名 (市町村コード)	富山市 (162019)
地域名 (地域内農業集落名)	山田地区 山田数納、山田若狭、山田居舟、山田鍋谷、山田谷、山田若土、山田鎌倉、山田小谷、 山田赤目谷、山田北山、山田湯、山田中村、山田小島、山田中瀬、山田白井谷、山田沼 又、山田牧、山田清水、山田今山田、山田宿坊、山田沢連
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年3月29日 (第2回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・中山間地域のため、圃場整備されていない狭小な農地が多いことから、農地集積・経営規模の拡大がすすんでいない。

・地域における担い手の確保状況は、認定農業者5経営体、認定新規就農者が2経営体、集落営農組織が10経営体となっている。その他の農業者については、当面は現状のまま営農を継続するが、高齢化が進行しており、農集落営農組織や新規就農者等による後継者が確保されない場合、農家数の減少が見込まれ、不作付地の拡大が懸念される。

(2) 地域における農業の将来の在り方

・担い手農家への農地の集積・集約化を進めるとともに、新規参入を促進する。

・認定農業者や集落営農組織の経営強化を行い、離農や規模縮小する農家の農地を借り受けたり耕作放棄地等を解消することで規模拡大を図り生産性を向上させるとともに、付加価値を高めるために有機・減農薬米栽培に取り組む。また、米やソバなどの土地利用型作物に加え、野菜、花、果樹などの複合化や6次産業化により所得を向上させる。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	650 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	650 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

市街化区域を除く農用地、農業振興地域の農用地を基本とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
農地中間管理機構を活用して、当地区全ての農地を担い手に集約する。
(2)農地中間管理機構の活用方針
農地の出し手は原則として農地中間管理機構を活用する。
(3)基盤整備事業への取組方針
農業の生産効率の向上等を図るため、農業者の要望を踏まえて、費用に見合った用排水路等の基盤整備に取り組む。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
技術の承継や耕作従事者の若年化を図る観点から、国の制度である地域おこし協力隊制度等を活用するなど、地域内外から多様な担い手の確保に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
作業の効率化等が期待できる防除作業等については、事業者への委託を検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農業	☒ ④畑地化・輸出等	☒ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、鳥獣被害対策を実施する。
- ②減農薬減化学肥料による特別栽培や有機栽培を推進していく。
- ③農作業の省力化を図るため、スマート農業を推進していく。
- ④ソバ等が連続して作付けられている水田は畑地化への取組みを推進する。
- ⑤農地の高収益化を図る観点から、果樹等の栽培を振興する。
- ⑦農業農村が有する多面的機能の発揮を図るため、多面的機能支払交付金等の事業を活用し、土地改良施設等の保全管理を推進する。